

時代	西暦	日本のできごと	熊本県のできごと	
旧石器	紀元前. 5000	狩猟や漁労 旧石器, 穴居生活	上益城郡 甲佐町 大峰遺跡(礫核石器, 尖頭器など) 水俣市 石飛遺跡 阿蘇郡 小国町 下城遺跡	
		縄文	縄文早期 下益城郡 城南町 沈目遺跡(沈目式土器) 縄文前期 宇土市 轟宮ノ庄貝塚(轟式土器) 縄文中期 下益城郡 城南町 阿高貝塚(阿高式土器) 縄文後期 菊池郡 合志町 御手洗遺跡(御手洗式土器) 縄文晩期 熊本市 上ノ原遺跡(上ノ原式土器)	
弥生	300 紀元	水田耕作始まる 金属器の使用始まる	弥生前期 玉名郡 天水町 斎藤山遺跡(板付式土器) 熊本市 苗代津遺跡で稲作が行われる	
	57	洪武帝より金印(漢委奴国王)をうける(志賀島で発見)	弥生中期 熊本市 黒髪町遺跡(黒髪式土器)	
古墳	239	卑弥呼, 魏に朝貢する	弥生後期 球磨郡 免田町 本目遺跡(免田式土器・重弧文土器)	
	391	大和朝廷の国土統一進む	古墳前期(4世紀) 宇土半島に向野田古墳(前方後円墳)などの巨大古墳があらわれる 古墳中期(5世紀中~6世紀初) 下益城郡城南町の塚原古墳群がこのころより約200年にわたりつくられる 鹿本郡鹿央町双子塚古墳	
	430		玉名郡菊水町江田船山古墳出土の銀象嵌銘文入りの鉄刀がつくられる 装飾古墳がつくられ始め, 600年代まで続く。熊本市小島千金甲古墳	
			古墳後期(6世紀中~末) 上益城郡 嘉島町 井寺古墳・山鹿市 弁慶ヶ穴古墳 横穴がつくられ始める	
	527		筑紫の国造磐井火の国に勢力をはり反乱をおこす	
	535		火の国春日部の屯倉が置かれる	
	536		日本書紀に「阿蘇仍君」の名まえがみえるが「阿蘇の君」か不詳	
	552	百濟より仏教が伝わる		
	562	新羅, 加羅(任那)を滅ぼす		
	593	聖徳太子摂政となる		
607	小野妹子を隋へ派遣	古墳晩期(7世紀~8世紀) 山鹿市鍋田横穴群・人吉市城本横穴群(大村横穴群)		
		元号	日本のおごき	熊本県のできごと
飛鳥	609		第1回遣唐使を送る	百濟の僧と俗人ら85人が葦北津に漂着する
	645	大化 1	大化の改新始まる	
	646	2	改新の詔	このころ肥後国を13郡に分ける

奈良	663	日本軍白村江の戦に敗れる	このころ鞠智城が築かれたと推定(698年修築)される
	672	壬申の乱おこる	
	700		この年から710年までの間に城南町陳内廃寺が建てられたと推定される。肥後国は遠国の上国となる
	701	大宝1 大宝律令が完成する	
	710	和銅3 平城京に遷都する	
	713	6	道君首名が筑後守となり肥後守を兼任(718年に死去するまで善政をする)
	723	養老7 三世一身の法	
	741	天平13 国分寺・国分尼寺建立の詔	このころ国府は現在の熊本市出水に置かれる 国分寺・国分尼寺が756年までに建立される
	743	15 墾田永年私財法が出される	
	770	宝亀1 葦北部・益城郡より白亀を献上し「宝亀」と改元される	
778	9	第10回遣唐使大伴継人ら41人が天草に漂着する	
790	延暦9	浄水寺(下益城郡豊野村)を創建。南大門開基の碑がたてられる	
794	13	平安京に遷都する	
795	14		
842	承和9	肥後国が大国となる	
858	天安2	このころ肥後国の国府、熊本市二本木に移転	
859	貞観1	合志郡の西部を分割し山本郡とする。肥後は14郡となる	
865	7	紀朝臣夏井が肥後守となる(866年、応天門の変で縁座し、土佐国へ流罪)	
873	15	渤海人「崔宋佐」らが天草に漂着すると、この年大宰府から政府に報告	
887	仁和3	藤原基経関白となる	
893	寛平5	新羅の賊が肥前に侵入し、ついで肥後飽田郡にも侵入し、人家を焼く	
894	6	遣唐使が廃止される	
935	承平5	このころ藤崎八幡宮 北岡神社が創建されたといわれる(熊本市)	
961	応和1	玉名郡に繁根木八幡宮が勧請されたといわれる	
986	寛和2	清原元輔が肥後守となる(在任中桧垣姫と交流があったといわれる)	
992	正暦3	これより先、玉井名(玉名)荘と合志荘が大宰府天満宮安楽寺の荘園となる	
1016	長和5	藤原道長摂政となる	
1019	寛仁3	刀伊の入寇。藤原隆家・藤原蔵規(菊池氏の祖)らがこれを撃退する	
1077	承暦1	このころ阿蘇神社立券	

鎌倉	1086	応徳 3	院政始まる	鹿子木 莊 (飽託郡北部町鹿子木) が大 宰 大 貳 藤原実政に寄進される
	1092	寛治 6		山鹿 莊 が白河院の莊園となる
	1097	承徳 1		山鹿 莊 が白河院から醍醐寺無 量 光院に寄進される
	1103	康和 5		伊 倉 莊 (玉名市伊倉) が宇佐八幡宮領となる
	1114	永久 2		野 原 莊 (荒尾市) が宇佐八幡宮弥勒寺喜多院領となる
	1130	大治 5		球磨郡多良木町黒肥地茂原の弥勒堂葉師如来・阿弥陀如来の像ができる
	1137	保延 3		平 清盛が中 務 大 輔 と肥後守を兼ねる
	1139		5	
	1144	天養 1		鹿子木 莊 立券, 本所を高陽門院とする
	1145		2	最 栄, 阿蘇山上に西巖殿寺を建立する
	1156	保元 1	保元の乱おこる	木原広実らの武士, 木部・豊福の公物を奪う
	1167	仁安 2	平清盛太 政 大臣となる	平清盛に大功田として肥後八代・南郷などが与えられる
	1180	治承 4	源 頼朝 挙兵	菊池隆直・阿蘇惟安・木原盛実らが平氏にそむく
	1185	寿永 4	(文治 1)	
	1185	文治 1	源頼朝守護・地頭をおく	菊池隆直が源氏に降伏する
	1192	建久 3	頼朝征夷大 将 軍となる	
	1193		4	紀国隆が玉名郡大野別府の地頭になったといわれる
	1205	元久 2	北条氏の執権政治始まる	相良長頼が人吉莊の地頭に, 藤原(志岐)光弘が天草志岐地方の地頭になる
	1209	承元 3		大友能直が神蔵莊木部の地頭下司職となる
	1221	承久 3	承久の乱	承久の乱で, 相良長頼は東軍に, 菊池隆定・能隆は京方に従う
1229	寛喜 1		この年, 球磨郡湯前町明 導 寺 (城 泉 寺) の阿弥陀堂が建てられる	
1232	貞永 1	御成敗式目(貞永式目)の制定		
1233	天福 1		相良長頼が人吉に頼 成 寺を建立する	
1244	寛元 2		小 代 重 敏 が玉名郡野原莊の地頭となる	
1247	宝治 1		人吉莊が中 分 され, 北方の地頭職が北原氏に奪われる	
1253	建長 5	日蓮, 日蓮宗を開く	肥後の守護として, 名越時 章 が在任する(1271年までか)	
1255		7	幕府執権北 条 時 頼 の弟北条時定が小国に下向し, 鎮西奉行になったといわれる	
1274	文永 11	文永の役	北条時定が阿蘇郡小国志津里に満願寺を建立し, 僧 經 杲 を住職とする。菊池武房・託麻頼秀・竹崎季長・葉室親善らが博多に出陣する	
1275	建治 1		竹崎季長が海東郷(小川町)の地頭となる	
1281	弘安 4	弘安の役	菊池武房・大矢野種保・相良頼俊・阿蘇惟景・竹崎季長・託麻時秀・顕秀・大野国隆ら博多に出陣する	
1283		6	僧寒巖義尹が河尻康明の援助をうけて, 大慈寺(禅寺)を建立する	

南北朝	1293	永仁 1		竹崎季長が蒙古襲来絵詞の作成を発意する
	1295		3	多良木黒肥地青蓮寺が多良木相良氏によって建立される
	1330	元徳 2		菊池武時が大智禅師を招き、菊池の聖護寺・広福寺を建立(通説, 誤伝)
	1331	元弘 1		鹿子木東荘が領家方と中分される
	1333		3	鎌倉幕府滅ぶ 菊池武時・阿蘇惟直が鎮西探題館を攻めて武時敗死する。菊池武重が肥後守となる
	1334	建武 1		建武の新政 名和義高が八代の地頭職をうける。また阿蘇武澄が肥前守となる
	1335		2	菊池武重が箱根竹の下の戦に千本槍を使用。菊池武敏が大宰府を攻め破る
	1336	延元 1 建武 3		南北朝の対立 菊池城が落城する。ついで菊池武敏・阿蘇惟直ら多々良浜の戦に敗れる
	1338	延元 3 暦応 1	あしかがたかうじ	足利尊氏征夷大將軍となる
	1339	延元 4 暦応 2	尊氏, 全国に安国寺を設ける	菊池郡久米の寿勝寺が肥後の安国寺として定められたといわれる
	1347	正平 2 貞和 3		征夷大將軍懷良親王肥後国に到着。河尻幸俊が尊氏から肥後の守護をうける
	1349	正平 4 貞和 5		足利直冬九州に下り、川尻口に上陸する
	室町	1351	正平 6 観応 2	
1355		正平 10 文和 4		菊池武光・懷良親王ら大宰府を占領し、探題一色氏逃げる
1356		正平 11 延文 1		菊池武澄が広福寺(玉名市石貫)を建立し、大智を住職とする
1359		正平 14 延文 4		菊池武光が大友氏を攻め、ついで、筑後大保原で少武頼尚を破る
1361		正平 16 康安 1		阿蘇惟澄が阿蘇大宮司職となる。征西府が大宰府に移される。菊池武光死亡する
1368		正平 23 応安 1	よしみつ	足利義満, 將軍となる
1369		正平 24 応安 2		明の使者が大宰府の征西府にきて、倭寇の禁止を求める
1372		文中 1 応安 5		大宰府の征西府没落する
1378		天授 4 永和 4	よしみつ	足利義満, 室町に幕府を移す
1381		弘和 1 永徳 1		菊池氏本城(隈府城)が今川了俊に攻めおとされ、成良親王・武朝は逃げる
1383		弘和 3 永徳 3		懷良親王死亡する
1391		元中 8 明德 2		今川軍が八代城を攻略する。名和顕興・成良親王ら降伏する
1392		元中 9	南北朝が合一する	菊池武朝が菊池に還り肥後守となる
1394	応永 1		菊池兼朝が肥後守となる	

戦国	1397	4	あしかがよしみつ きんかく 足利義満、金閣を建造する	幕府が大内・大友氏に菊池武朝を討たせる
	1404	11	かんごうばうえき 勘合貿易始まる	
	1405	12		菊池武朝、探題渋川満頼と戦う。幕府が阿蘇惟村に命じ菊池武朝を討たせる
	1418	25		藤崎八幡宮の僧形八幡神像ができる。
	1448	文安 5	ぶんあん 文安	ながとめながつぐ かみきがら 永留長統、上相良氏を滅ぼして球磨を統一し相良氏を継ぐ(雀ヶ森合戦)
	1455	こうしやう 康正 1		たくま ためふさ つか 詫摩為房が使いを朝鮮に遣わし、貿易船の派遣を約束する たけのり まさしげ 高瀬武教・大橋政重が朝鮮に使いを派遣する
	1467	おうにん 応仁 1	応仁の乱おこる	
	1468	2		ほそかわかつもと 細川勝元、相良氏に東軍参加を要望。菊池為邦が朝鮮に使いを派遣する
	1470	ぶんめい 文明 2		菊池・相良氏東軍として九州で活躍する
	1477	9		菊池重朝、孔子を祭る。桂庵玄樹、隈府に滞在する
	1481	13		菊池重朝が隈府で諸侍をよんで万句連歌を興行する
	1484	16		相良為続が名和顕忠を八代古麓城に攻める
	1488	ちやうきやう 長享 2	か が いっこういっ き 加賀に一向一揆おこる	
	1493	めいおう 明応 2		相良為続が7か条の法度を制定し布令する
1534	てんぶん 天文 3		菊池義武がおわれ、かわって大友氏が肥後を支配する	
1543	12	てつぱう 鉄砲が伝来する	大友義鑑が肥後守護職となる	
1549	18	キリスト教が伝来する	ろくでん しもまし き とみあい 六殿神社(下益城郡富合町木原)の楼門が建立される	
1554	23		守護菊池義武が自殺し、大友義鎮が肥後を支配する	
1555	こうじ 弘治 1		相良晴広が21か条の法度を制定し、以後一向宗(浄土真宗)を禁止する	
1566	えいろく 永禄 9		天草の志岐の招きで宣教師アルメイダがキリスト教を布教する カブラルらが志岐で宗教会議をする	
1570	げんき 元亀 1			
1573	てんしやう 天正 1	室町幕府滅ぶ		
1576	4	おだのぶなが あづち 織田信長、安土城を築く		
1577	5		りゅうぞう じ たかのぶ 竜造寺隆信が肥後に侵入する ひさたね 天草久種が洗礼をうけ、ジョアンと称する	
1579	7		しまづ 島津軍が相良領の水俣攻略を始める	
1580	8		かい そううん じやうちかまさ たん が せ 甲斐宗運と城親賢が巨過瀬(熊本市)で戦う	
1581	9		相良義陽が島津氏に降伏、ついで甲斐宗運と戦い戦死する(響ヶ原の合戦、下益城郡豊野村)	
1582	10	とよとみ ひでよし 豊臣秀吉の政治始まる		
1586	14		よしひさ くまもと 島津義久軍が隈本城を占拠し、さらに進攻し肥後を平定する	
1587	15		秀吉が島津氏を征服する。肥後の領主に佐々成政をあてる。相良氏も安堵させる。成政が領内の検地の実施に着手するが、隈部親永らが拒否し、ついに国衆一揆に進展する	
安土桃山				

江戸	1588	16		秀吉が国衆一揆の処理として肥後の検地を命ずる 秀吉が肥後を2分し、加藤清正は隈本城に、小西行長は宇土城に入る
	1589	17		天草五人衆が小西行長に反抗しついに降伏する。清正が領内の検地をする このころ玉名郡小田牟田新田が開拓されたといわれる
	1590	18	秀吉の全国統一なる	
	1591	19		天草にキリスト教の学林(コレジョ)が移され、印刷を行う
	1592	文禄 1	文禄の役	加藤清正・小西行長が文禄の役に出陣する。清正、ついで2王子を捕える
	1597	慶長 2	慶長の役	加藤清正・小西行長が慶長の役に出陣する
	1600	5	関ヶ原の戦い	加藤清正が宇土城・八代城を攻める 清正が肥後54万石を領する。相良氏、球磨郡を領する
	1601	6		清正の領地として天草と豊後鶴崎・野津原・佐賀関が交換される
	1603	8	徳川家康征夷大将軍となる	寺沢広高が天草富岡に新城を築く。加藤清正が八代キリスト教を弾圧する
	1607	12		隈本新城(熊本城)落成。隈本を熊本に改める
	1609	14		人吉の青井阿蘇神社の改築に着手。1611年完成
	1611	16		加藤清正が死亡し、子の忠広が継嗣する
	1615	元和 1	大阪城落城。武家諸法度の制定	一国一城令により南関・内牧・佐敷城をこわす
	1632	寛永 9		加藤忠広が出羽に配流され、かわって小倉から細川忠利が領主として移る
	1633	10		キリシタン宗門改め令が出る
	1637	14	島原・天草一揆おこる	天草のキリシタンが蜂起し、島原のキリシタンとともに戦う
	1638	15		細川忠利が島原に出陣する。一揆終結する。天草は山崎家治が統治する
	1639	16	鎖国が完成する	宗門改めのため寺院に檀家名簿をつくらせる。人吉城の築造が中止される
	1641	18		天草が天領となり、鈴木重成が天草代官となる。細川忠利が死亡
	1643	20		細川忠利の死去により阿部一族の騒動がおこる
1646	正保 3		松井氏が八代城番を世襲する。宇土で上水道工事に着手する	
1647	4		ポルトガル船が長崎に入港し、警備のため藩兵1万余人が派遣される	
1655	明暦 1		松井興長が松崎新地(90町余)を開発する	
1659	万治 2		天草の石高が前代官鈴木重成の努力で半減され、2万1000石余となる	
1664	寛文 4		人吉町人林正盛が球磨川を開削する。	
1669	9		陽明学者の北島雪山らが追放される	
1670	10		富岡城が破棄される(戸田の破城)	
1674	延宝 2		益城郡矢部手永仏原で騒擾事件がおこる	
1685	貞享 2		五箇荘が細川藩を離れて天領となる。銀札をはじめて使用する	

1687	4	しょうるいあわれ 生類憐みの令出される	キリシタン宗門改めをさらに強化することになる
1697	10	げんろく 元禄	人吉藩士高橋政重が幸野溝を上球磨に開く
1702	15		大石良雄ら赤穂浪士17人が肥後藩の江戸屋敷に預けられる
1716	1	きょうほう 享保	享保の改革始まる
1723	8		藩で櫛苗の仕立を奨励する
1732	17		虫害で大飢饉がおこり幕府から2万両を借金する
1734	19		阿蘇郡上色見村の百姓が竹田領に逃げる。百姓一揆が次第におこる
1736		げんぶん 元文	大洪水により、田畑5000町歩が浸水する
1747	4	えんきょう 延享	細川宗孝のあとを継いで弟重賢が藩主となる
1748	1	かんえん 寛延	細川重賢が直書5か条をもって藩政の改革(宝暦の改革)を始める
1754	4	ほうれき 宝暦	藩校時習館を開設する(56年に再春館もできる)
1757	7		八代に松井氏が伝習館を創設する
1763	13		熊本市高橋町に藩営搾所ができる。宇土藩校温知館ができる
1765	2	めいわ 明和	菊池郡河原手永の惣庄屋、河原左右衛門が河原井手を開く
1774	3	あんえい 安永	「解体新書」が出版される 全国に疫病が流行する。肥後藩も同様
1786	6	てんめい 天明	人吉藩が藩校時習教館を設立する。熊本に銀銭預会所が設置される
1787	7		寛政の改革始まる 凶作のため熊本、古町、新町、川尻に打ちこわしがおこり流行する
1792	4	かんせい 寛政	ラクスマン、根室にくる 雲仙岳大爆発、津波の被害甚大
1796	8		天草西海岸の百姓が銀主の家を打ちこわす。大洪水で大損害をうける
1798	10		「古事記伝」が完成する
1810	7	ぶんか 文化	伊能忠敬が測量のため、天草、肥後本土にくる
1813	10		菊池郡古川井手が開かれる
1823	6	ぶんせい 文政	シーボルト、長崎にくる
1825	8		外国船打払令出される
1833	4	てんぽう 天保	菊池郡兵藤井手が開通(1836年完成)
1837	8	おおしお 大塩の乱	おこる 凶作で行き倒れ、物ごいがふえる
1841	12		天保の改革始まる 人吉藩に茸山騒動がおこる
1847	4	こうか 弘化	天草に百姓一揆がおこる。天草は大分県日田代官所預りとなる
1853	6	かえい 嘉永	ペリー来航する 肥後藩は、本牧・相模湾沿岸の警備にあたる
1854	1	あんせい 安政	日米和親条約を結ぶ 矢部惣庄屋布田保之助、通潤橋の工事に1852年着工し、この年できる
1858	5		日米修好通商条約を結ぶ 横井小楠が越前藩主松平慶永(春嶽)に用いられる
1859	6		安政の大獄おこる
1864	1	げんじ 元治	宮部鼎蔵・松田重助らが京都伏見の池田屋事件で死亡する

明治	1865	慶応 1	人吉藩で丑年騒動がおこる
	1866	2	第二次長州戦争のため、肥後藩は小倉に出兵する
	1867	3	大政奉還行われる 相良藩、イギリス式兵制を採用する
	1868	明治 1	五箇条の御誓文。明治と改元 細川・相良両藩も会津戦争に参加する。天草郡が長崎府に併合される
	1869	2	版籍奉還行われる 横井小楠が京都丸太町で暗殺される
	1870	3	細川護久が知藩事となり藩政改革が始まる。正税以外の諸税を廃止する
	1871	4	廃藩置県行われる 時習館が廃され古城医学堂が建てられる。熊本県・人吉県が設置される 熊本に鎮西鎮台がおかれる。熊本洋学校が開かれる(ジェーンズ奉職)
	1872	5	熊本新町に郵便役所がおかれる。人吉県は八代県となる
	1873	6	地租改正が始まる 徴兵令布告される 鎮西鎮台を熊本鎮台と改める。三池炭鉱が官営となる 八代県が白川県に合併される。安岡良亮、白川権令として着任する 熊本に電信が設立される。天草郡崎津村に血税騒動がおこる
	1874	7	熊本で白川新聞が創刊される。熊本県は16大区、166小区となる
	1875	8	熊本で地租改正が始まる 緑川製糸ができる(嘉悦氏房、甲佐町豊内)。植木学校開設される。
	1876	9	花岡山バンドの誓い。白川県が熊本県に改称される 県立中学校が千葉城跡に設立される。神風連の乱がおこる
	1877	10	西南戦争おこる 城北の戸長征伐はじまる。熊本竈城。田原坂の戦い。阿蘇の農民一揆おこる
	1878	11	国立第九銀行が設立される(熊本市米屋町) 大小区を廃止して郡区となる。熊本県で最初の政治結社、相愛社が設立され、民権運動を始める
	1879	12	佐々友房同心学舎をおこす 力食社が設立される(熊本市内坪井町) 製蠟社(水前寺)・熊本製茶会社・自助社・紅茶不知火会社・開墾社・観光社が設立される
	1881	14	国会開設の勅諭。政党の結成 熊本県の地租改正が完了する
	1887	20	第五高等中学校ができる(のちの五高)
	1888	21	市制・町村制の公布 立憲政治始まる 鎮台を師団と改める。第六師団が発足する 「九州日々新聞」を発刊する
	1889	22	大日本帝国憲法発布される 熊本市が誕生する。政府が三池炭鉱を三井に払いさげる
	1891	24	熊本まで鉄道が開通し、電灯会社が設立される 小泉八雲(ラフカディオ=ハーン)が熊本に五高教師としてくる
	1894	27	日清戦争おこる
	1895	28	下関条約を結ぶ。三国干渉

大正	1896	29	商業学校(熊商)ができる。肥後製糸会社(株式)ができる 郡の合併が行われ、 ^{ほうたく かもと きくち} 飽託郡、鹿本郡、菊池郡が新しくうまれる 三角線が開通する 。三角港が開港場に指定される
	1899	32	
	1904	37	^{にあり} 日露戦争おこる
	1907	40	熊本軽便鉄道が開業される(安己橋一水前寺間)
	1909	42	日本窒素肥料株式会社水俣工場が開設される 人吉一吉松間が開通し、鹿児島本線が全線開通する
	1910	43	^{かんこくへいごう} 韓国併合 大逆事件 の熊本組が検挙される
	1914	大正3	第一次世界大戦おこる 日本窒素肥料鏡工場操業開始
	1918	7	^{こめそうどう} 米騒動。原内閣成立する 日本窒素鏡工場、 ^{まんた} 万田炭坑でストライキや暴動がおこる
	1924	13	^{ごけん} 第二次護憲運動おこる 八代郡郡築村の第1次小作争議がおこる。熊本市電、上水道が完成する
	1925	14	^{ちあんいじほう} 治安維持法・普通選挙法制定 第2次郡築小作争議が解決し、農民組合は解散する
昭和	1927	昭2	^{しやうわ} 金融恐慌おこる 万田炭坑で争議が発生し激化する。立憲民政党県支部結成式 台風と潮害で有明海沿岸に大被害が出る
	1928	3	第1回普通選挙行われる 熊本放送局(JOGK)ができる。豊肥本線が全通する 県会における民政・政友両党の政争が激化する
	1931	6	^{まんしゅうじへん} 満州事変おこる 郡築争議が解決する
	1933	8	国際連盟を脱退する 国民同盟熊本県支部が結成される
	1935	10	熊本大博覧会が開かれる
	1937	12	日中戦争始まる 第六師団が ^{かほく かちゅう} 華北・華中に出動する
	1940	15	^{たいせいよくさんかい} 大政翼賛会熊本県支部が結成される
	1941	16	太平洋戦争始まる
	1942	17	米・麦・衣料などの配給制が始まる。新聞合同による熊本日日新聞の創刊
	1945	20	ポツダム宣言受諾 熊本市ほか大空襲をうける。農地改革が始まる
昭和	1946	21	日本国憲法公布 熊本県農民連盟や熊本県労働組合連合会が結成される。戦後第1回総選挙
	1947	22	^{どくせんきんしほう} 独占禁止法・労働基準法公布 熊本県が産業振興総合計画を発表する。六・三・三制移行
	1950	25	朝鮮戦争おこる
	1951	26	サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約を結ぶ ルース台風で大被害をうける
	1953	28	6・26大水害がおこる。町村合併が促進される
	1958	33	NHK熊本テレビの放送が開始される
	1960	35	日米安全保障条約の改定 ^{みいけ} 三池炭鉱の争議が激化する。 熊本城復元完成 。 ^{しもうけ} 下釜ダム闘争が激化する
	1966	41	天草五橋が開通する
	1968	43	^{かわばたやすなり} 川端康成にノーベル文学賞 九州縦貫高速自動車道の起工式 。厚生省が ^{みなまた} 水俣病を公害病と認定する ^{おがさわら} 小笠原諸島が復帰する

	1969	44	アポロ宇宙船月に着陸する	熊本市江津湖畔に熊本動物園が開園する。水俣病裁判が始まる
	1970	45	日本万国博覧会開かれる	熊本市電の上熊本－ ^{ふじきまぐう} 藤崎宮線と南熊本－ ^{からしま} 辛島町線が廃止される
	1971	46	沖縄返還協定に調印する 環境庁を設置する	飽託郡 ^{ほうたく} 託麻村 ^{たくま} が熊本市に編入される 新熊本空港が開港する 九州縦貫高速自動車道が植木－熊本間に開通する
	1972	47	沖縄県が発足する 日中共同声明が発表される	熊本市電の子飼橋－水道町線が廃止される 天草上島で山津波災害が続発する
	1973	48	石油危機で物価が ^{こうとう} 高騰	日立造船有明工場 ^{ながす} (長洲町)が操業を開始する
	1975	50	沖縄海洋博覧会開かれる	阿蘇地方を中心に地震が続発する 国鉄高森線の九州最後のS Lが引退する
	1976	51	ロッキード事件おこる	熊本城内二の丸に県立美術館が開館する 天草郡 ^{れいほく} 苓北町－中国 ^{シヤンハイ} 上海市間の日中海底ケーブルが開通する
	1977	52	^{うすざん} 有珠山大爆発をおこす	人吉ループ橋が開通する 熊本市が人口 50 万人突破。日立造船有明工場で世界最大のタンカーが完工
	1978	53	新東京国際空港が開港する 日中平和友好条約に調印する	熊本博物館、 ^{やまが} 山鹿市立博物館が開館する 九州縦貫高速自動車道の ^{みふね} 御船－松橋間が開通する
	1979	54	東京でサミットが開かれる	中国の ^{ケイリン} 桂林市と熊本市の友好都市締結が決まる
	1980	55	衆参同日選挙が行われる	九州縦貫高速自動車道の松橋－八代間が開通する
平成	1993	^{へいせい} 5	非自民の細川政権が発足	熊本市の博覧会「火の国フェスタくまもと' 93」が開かれる
	1995	7	阪神・淡路大震災	九州縦貫高速自動車道の人吉－えびの(宮崎県)間が結ばれ、全線が開通
	1999	11	茨城県東海村で臨界事故発生	くまもと未来国体秋季大会が開かれる